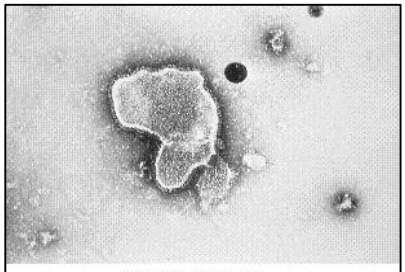
山口県感染症発生週報 （第45週：平成24年11月5日～11月11日）

1 全数把握感染症

【2類感染症】
◆**結核**：第44週追加：3例（岩国、周南、山口）。第45週：2例（柳井、宇部）。
【5類感染症】
◆**アメーバ赤痢**：第45週：1例（下関）。



RSウイルス
CDC/ E. L. Palmer

2 定点把握感染症（5類感染症）

(1)特記事項

◆**インフルエンザ**：柳井から2例、長門から1例報告がありました。迅速検査ではいずれもA型です。
◆**RSウイルス感染症**：例年冬期に流行がみられますが、今年はかなり早い時期から流行しています。第34週（8/20～8/26）から第38週（9/17～9/23）まで急激に増加し、第41週（10/8～10/14）以降4週続けて減少していましたが、今週は再びやや増加しました。全国的には第40週（10/1～10/7）をピークに減少傾向がみられますが、例年の同時期と比較して多い状況で推移しています（第44週現在）。引き続き特に乳幼児を中心に注意が必要です。
◆**感染性胃腸炎**：増加傾向がみられます。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので、今後の動向に注意が必要です。
◆**水痘**：増加傾向がみられます。地域別では防府が急増し今週警報レベルとなりました。季節的には8月から11月に少なく、12月から7月に多くみられる疾患ですので、今後の動向に注意が必要です。
【警報レベル＝防府（新）】※
◆**マイコプラズマ肺炎**：報告数は多く13例でした。全国的にも例年と比較して多い状況が続いていますので、注意が必要です。
◆**細菌性髄膜炎**：防府から1例報告がありました。年齢は90代で、肺炎桿菌が検出されています。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuiho.php

(2)週別発生状況

疾患名	43週	44週	45週	疾患名	43週	44週	45週
インフルエンザ	0	1	3	百日咳	3	1	0
RSウイルス感染症	83	67	87	ヘルパンギーナ	7	15	16
咽頭結膜熱	2	4	9	流行性耳下腺炎	5	11	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	120	142	171	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	220	245	395	流行性角結膜炎	1	1	7
水痘	36	56	72	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	4	2	6	細菌性髄膜炎	0	0	1
伝染性紅斑	0	4	1	マイコプラズマ肺炎	11	14	13
突発性発しん	34	33	50	無菌性髄膜炎	2	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	2	0	0	0	0	1	0	3
RSウイルス感染症	14	13	2	11	5	8	21	10	3	87
咽頭結膜熱	2	2	0	0	2	0	2	0	1	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	6	2	37	3	58	18	7	6	171
感染性胃腸炎	68	40	5	99	14	74	79	3	13	395
水痘	12	1	12	13	21	3	8	2	0	72
手足口病	4	0	0	0	0	0	2	0	0	6
伝染性紅斑	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
突発性発しん	15	3	0	8	2	16	4	2	0	50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16
流行性耳下腺炎	0	0	0	3	0	2	0	1	0	6
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	1	3	0	1	1	0	0	0	7
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	0	4	0	2	1	0	0	6	0	13
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

山口県感染症情報センター（山口県環境保健センター内）
電話：083-922-7630　FAX：083-922-7632
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/